

外字サーバ

ユーザーズマニュアル

Revision 7.1

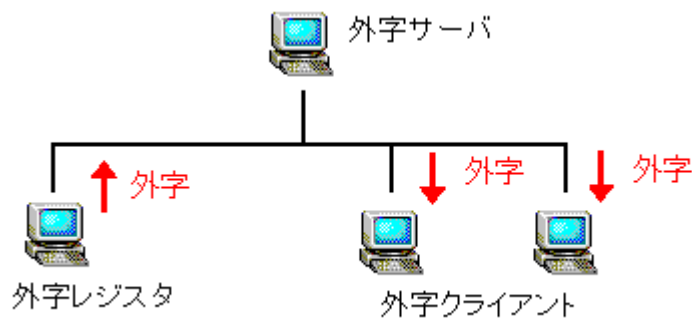
2025 年 9 月 3 日

1. はじめに

外字サーバを使用することにより、ネットワーク(TCP/IP)で接続されたパソコン間で同じ外字を使用できるようになります。

このシステムは3つのソフトウェアから構成されています。

外字サーバ	外字ファイルを管理するサーバです。Windows サービスとして動作します。
外字レジスタ	外字サーバに外字ファイルを転送します。
外字クライアント	外字サーバから外字ファイルを取得し、パソコンに外字登録します。



外字の登録は、外字レジスタのインストールされているパソコンで行います。外字サーバのインストールされているパソコンで外字情報を管理します。実際に外字を使用するパソコンで外字クライアントを起動し、外字を取得します。

外字レジスタは、外字サーバまたは外字クライアントと同じパソコンにインストールしても構いません。

外字サーバ、外字レジスタ、外字クライアントのインストールは管理者権限のあるユーザで行ってください。

2. 動作環境

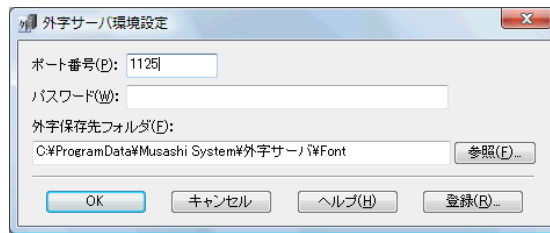
外字レジスタと外字クライアントは、10/11 各日本語版 で動作します。

外字サーバは、Windows 10/11/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016/Server 2019/Server 2022 各日本語版で動作します。

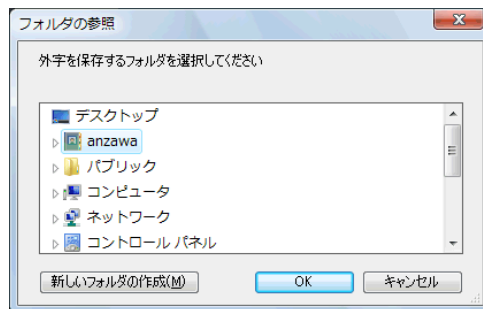
3. 外字サーバ

外字サーバのインストール後、まず、外字サーバの環境設定を行う必要があります。以下の手順で行ってください。

- ① .Windows のスタートメニューから[外字サーバ]→[外字サーバ環境設定]を選択します。この時、OS によってはユーザーアカウント制御のダイアログが表示されますが、「許可」(または「はい」)をクリックしてください。
外字サーバ環境設定ウィンドウが表示されます。



- ②.「外字保存先フォルダ」を設定します。デフォルトでは全ユーザ共通アプリケーションデータフォルダ¥Musashi System¥外字サーバ¥Font フォルダに設定されています。右にある「参照」ボタンをクリックするとフォルダの参照ウィンドウが表示されますので、外字ファイルを保存するフォルダを指定してください。



- ③.外字の不正登録を防止する場合は、「パスワード」を入力します。これは外字レジスタと通信するためのパスワードです。ここで入力した値を、外字レジスタの環境設定画面で入力する必要があります。外字レジスタの使用を規制しない場合、設定する必要はありません。
- ④.「OK」ボタンをクリックし、外字サーバ環境設定ウィンドウを閉じます。外字サーバが再起動されます。

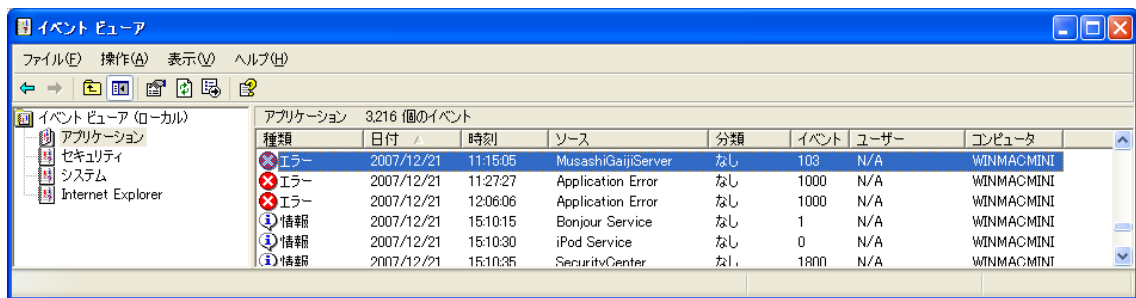
以上で、外字サーバの設定は完了です。

外字のリンク情報は、外字サーバ環境設定の「外字保存先フォルダ」で指定したフォルダ内に、ファイル EUDCFile.csv として保存されます。

外字サーバは Windows のサービスとして動作します。Windows 管理ツールの「サービス」では、名前は **MusashiGaijiServer** と表示されます。

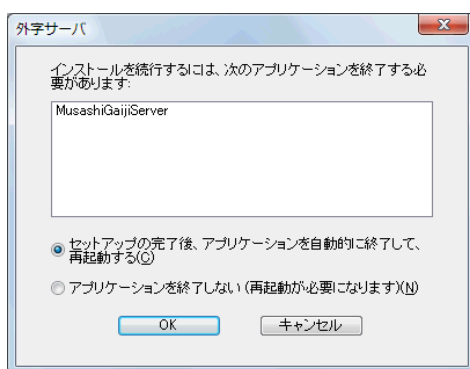


外字サーバで致命的なエラーが発生した場合、イベントログにアプリケーションログとして記録されます。この時のソース名も **MusashiGaijiServer** と表示されます。

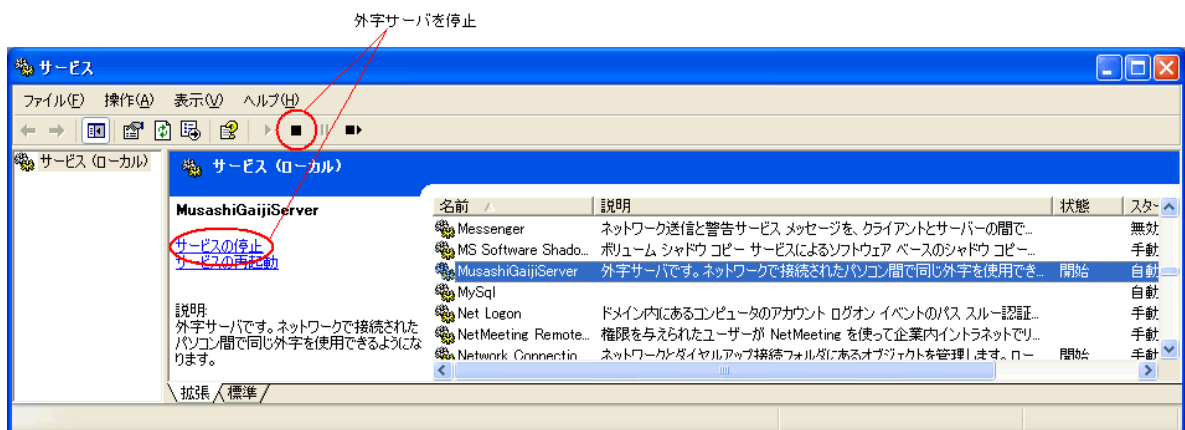


外字サーバのアンインストールはコントロールパネルから行います。

削除途中で下記のダイアログが表示されますが、「セットアップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、再起動する」を選択して OK ボタンをクリックすれば、アンインストールされます。



なお、Windows 管理ツールの「サービス」で外字サーバ(MusashiGaijiServer)を停止してからアンインストールを実行した場合はこのメッセージは表示されません。



4. Windows ファイアウォールの設定

Windows ファイアウォールの設定を行わないと、外字レジスタや外字クライアントからの接続がブロックされてしまいます。そのため、外字レジスタや外字クライアントでは、「サーバへの接続に失敗しました。」

サーバー IP アドレス=xxx.xxx.xxx.xxx

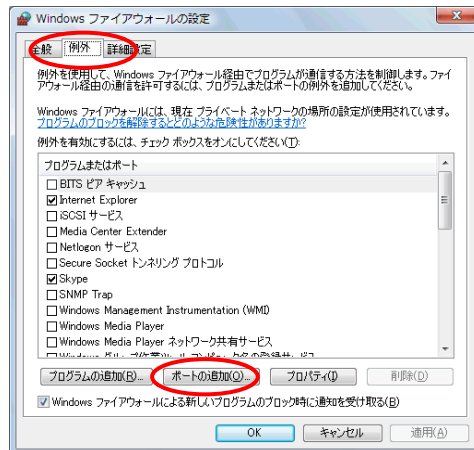
ポート番号=1125」

のエラーとなってしまいます。

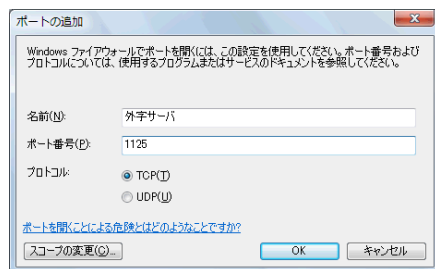
外字サーバのインストールされているサーバパソコンで以下の設定を行ってください。

4.1 Server 2008 での手順

- ① コントロールパネルのセキュリティアイコンの下にある「Window ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。
- ② ユーザアカウント制御のダイアログが表示されるので「許可」をクリックします。
- ③ Windows ファイアウォールの設定ダイアログが表示されるので、「例外」タブを選択し、「ポートの追加」ボタンをクリックします。



- ④ 下図のように、名前、ポート番号を設定し、プロトコルは TCP を選択します。

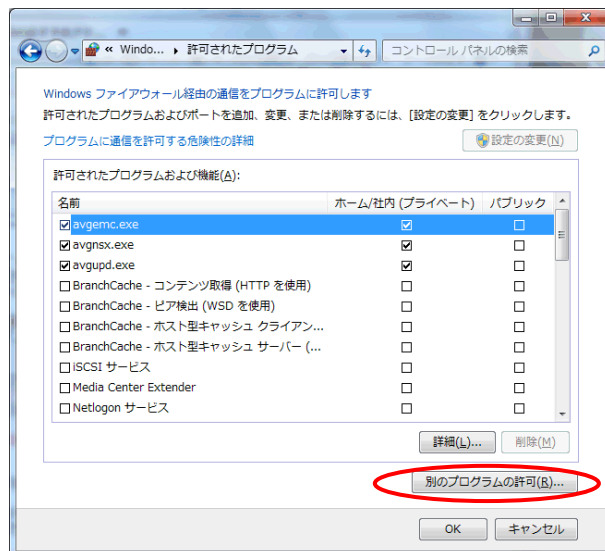


- ⑤ 「スコープの変更」ボタンをクリックし、環境に応じて好ましいスコープを選択します。

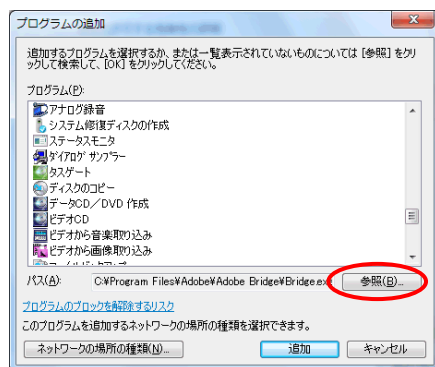


4.2 Server 2008 R2 での手順

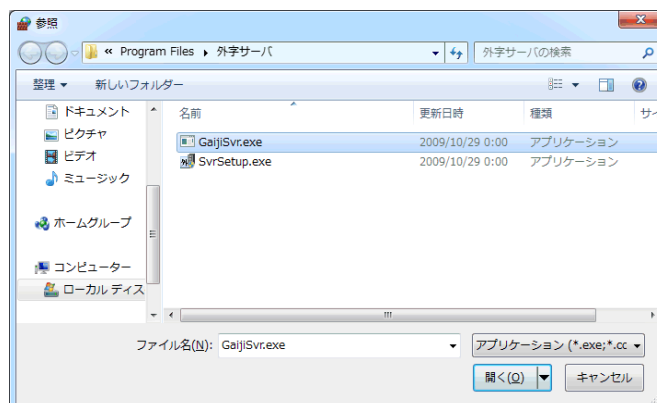
- ① コントロールパネルの「システムとセキュリティ」をクリックします。
- ② 「Window ファイアウォール」にある「Window ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。
- ③ 「設定の変更」ボタンをクリックします。(Windows 7 の場合)
- ④ 「別のプログラムの許可」ボタンをクリックします。



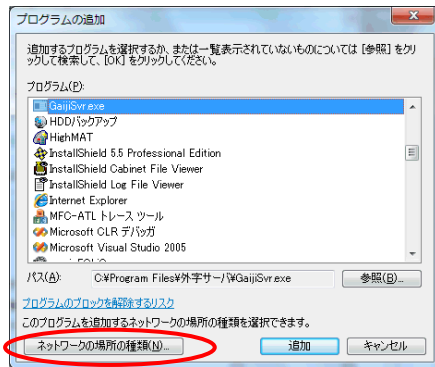
⑤ 「参照」ボタンをクリックします。



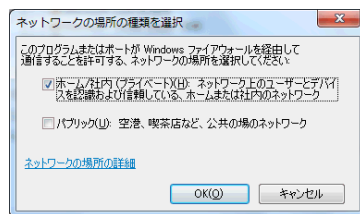
⑥ C:\Program Files\外字サーバ\GaijiSvr.exe を選択します。



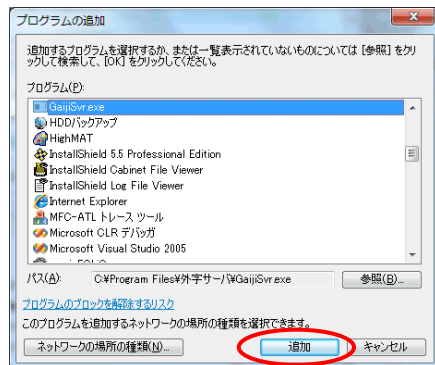
⑦ 「ネットワークの場所の種類」ボタンをクリックします。



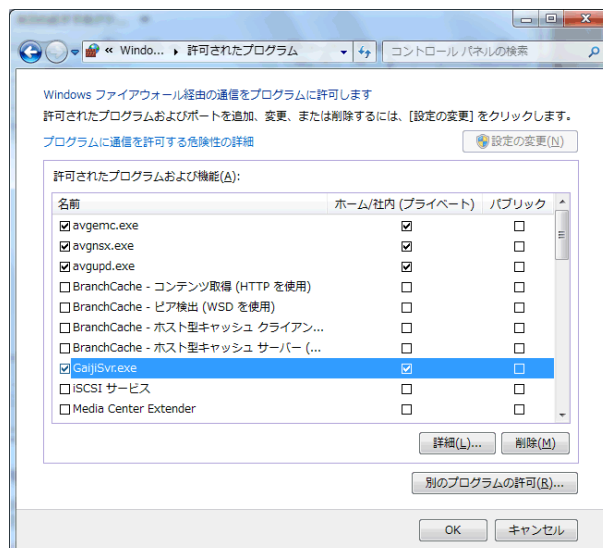
- ⑧ 環境に応じて好ましいネットワーク場所を選択します。



- ⑨ 「追加」ボタンをクリックします。



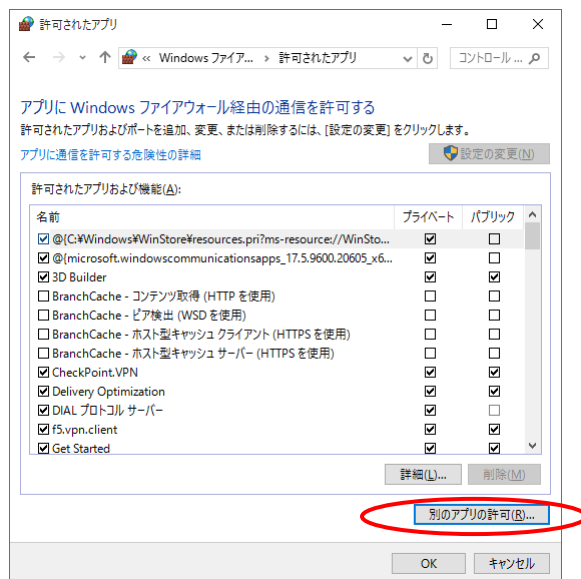
- ⑩ 一覧に「GaijiSvr.exe」が追加されます。



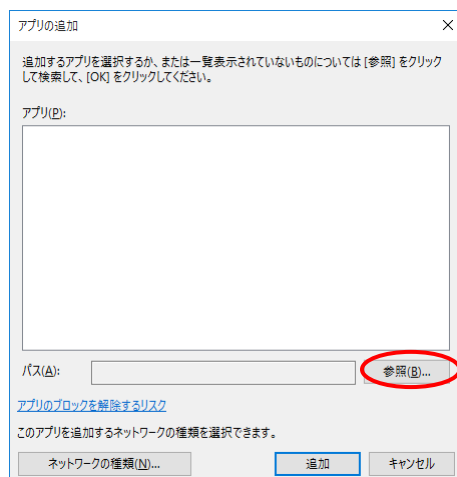
4.3 Windows 10／11／Server 2012／Server 2012 R2／Server 2016／Server 2019／Server 2022 での手順

- ① コントロールパネルの「システムとセキュリティ」をクリックします。

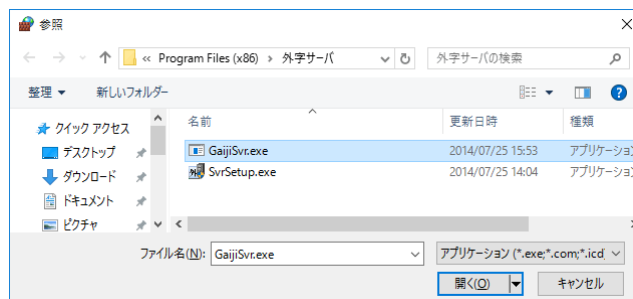
- ② 「Window Defender ファイアウォール」にある「Window ファイアウォールによるアプリケーションの許可」をクリックします。
- ③ 「設定の変更」ボタンをクリックします。(Windows 8/8.1/10/11 の場合)
- ④ 「別のアプリの許可」ボタンをクリックします。



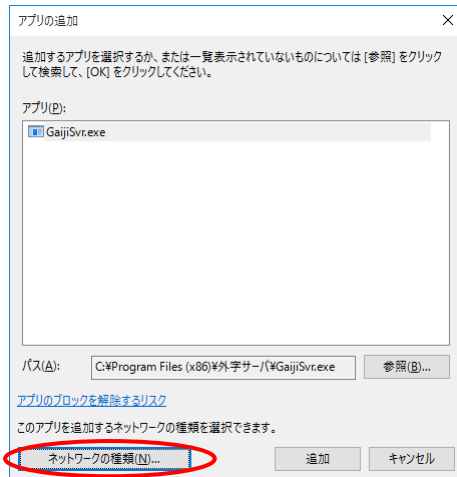
- ⑤ 「参照」ボタンをクリックします。



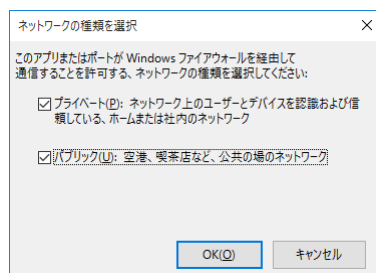
- ⑥ C:\Program Files(x86)\外字サーバ\GaijiSvr.exe を選択します。



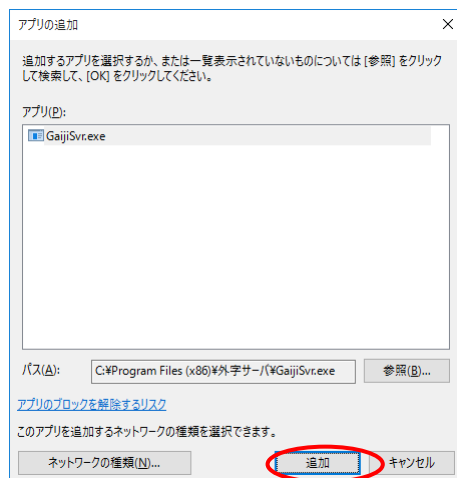
- ⑦ 「ネットワークの種類」ボタンをクリックします。



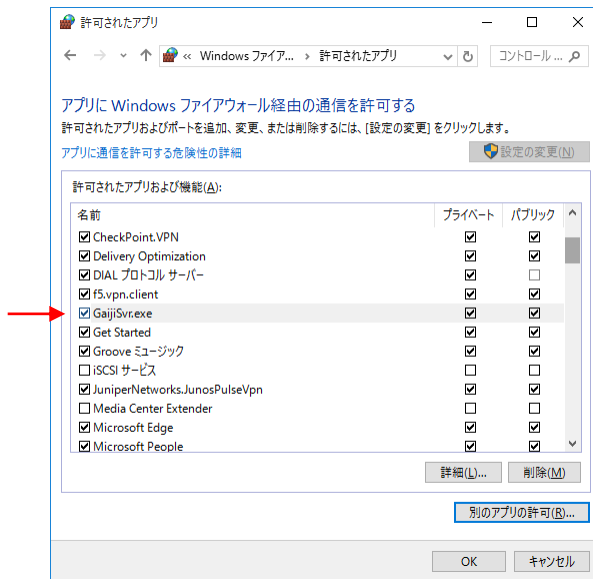
⑧ 環境に応じて好ましいネットワーク場所を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



⑨ 「追加」ボタンをクリックします。



⑩ 一覧に「GaijiSvr.exe」が追加されます。



5. 外字ファイル

外字サーバに外字を登録するためには、登録するための外字ファイル（フォントにリンクさせるタイプの外字ファイルです。一般的にファイル拡張子は.tte です。）が必要です。

外字ファイルの作成は外字エディタで行います。外字エディタソフトの種別は特に規定しません。Windows に付属の外字エディタでも、TTEdit でも構いません。

なお、Windows 付属の外字エディタで作成したファイルの場合、クライアント側では編集できませんのでご注意ください。

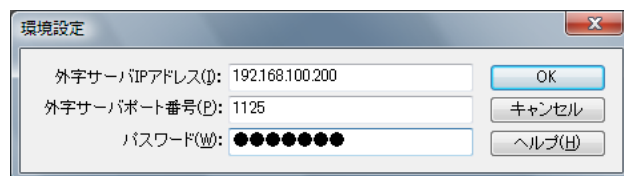
また、外字レジスタを複数のパソコンにインストールして外字更新を行う場合、外字エディタとしては、Windows 付属の外字エディタを使うことはできません。その場合は TTEdit をご利用ください。TTEdit に関しては <https://opentype.jp> をご参照ください。

6. 外字レジスタ

外字レジスタを使用して外字サーバに外字を登録します。

初めて外字レジスタを起動したら、環境設定を行う必要があります。

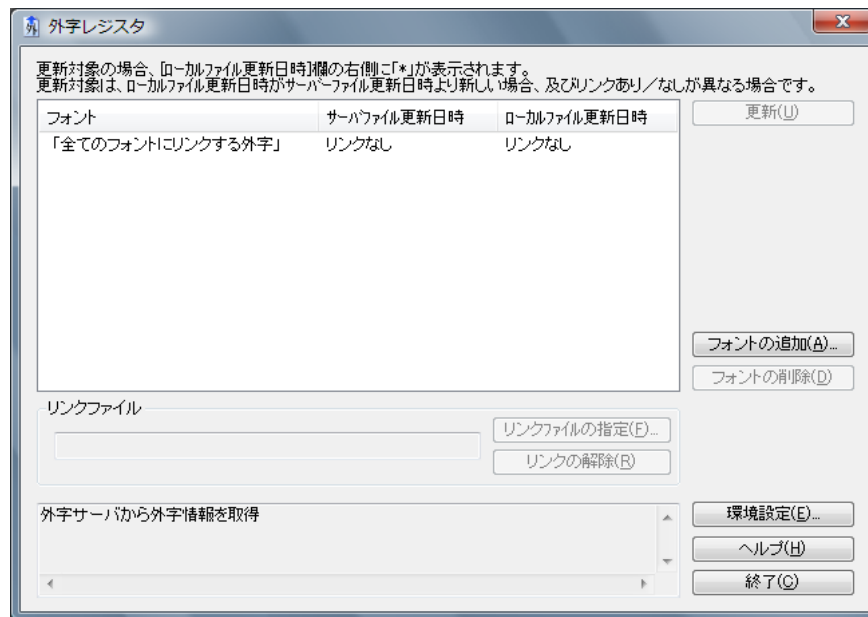
①.「環境設定」ボタンをクリックし、環境設定ウィンドウを表示します。



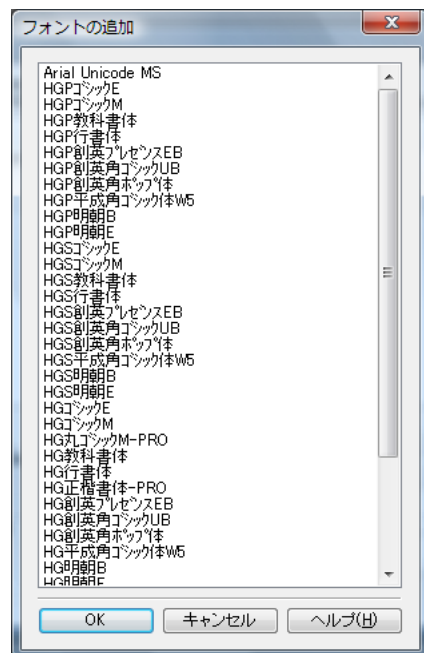
②.「外字サーバ IP アドレス」を設定します。外字サーバをインストールしたコンピュータの IP アドレス、またはコンピュータ名を設定してください。IP アドレスで指定する場合は 192.168.100.200 のように、コンピュータ名で指定する場合は gaijiserver のように設定してください。

③.外字サーバの環境設定でパスワードを指定した場合は、このウィンドウでパスワードを入力してください。外字サーバの環境設定で入力した値と同じ値を設定しないと、外字レジスタ使用時にエラーとなります。

- ④.「終了」ボタンをクリックして外字レジスタ終了します。
- ⑤. 外字レジスタを再起動します。



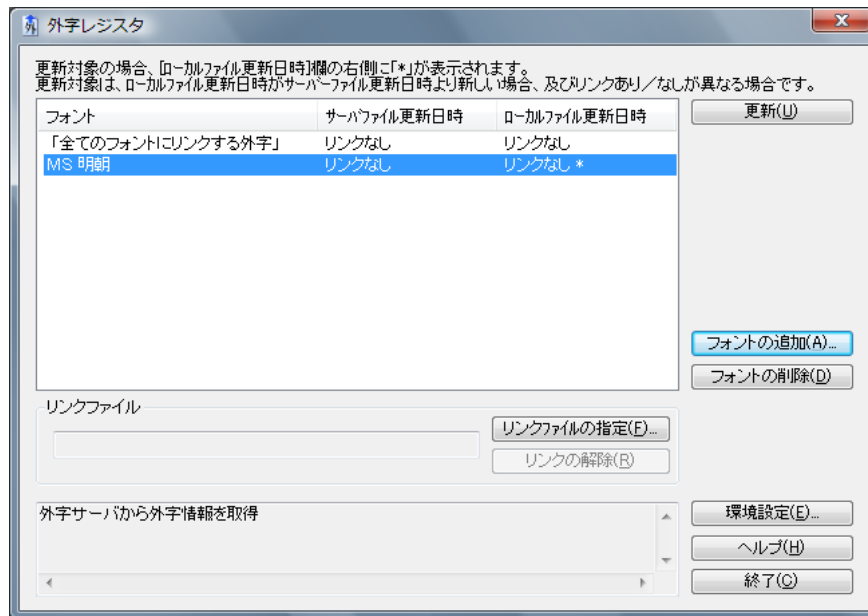
- ⑥.外字サーバから外字情報が取得され、一覧に表示されます。
- ⑦.一覧にないフォントに対して外字を管理するには、「フォントの追加」ボタンをクリックし、フォントの追加ウィンドウを表示します。



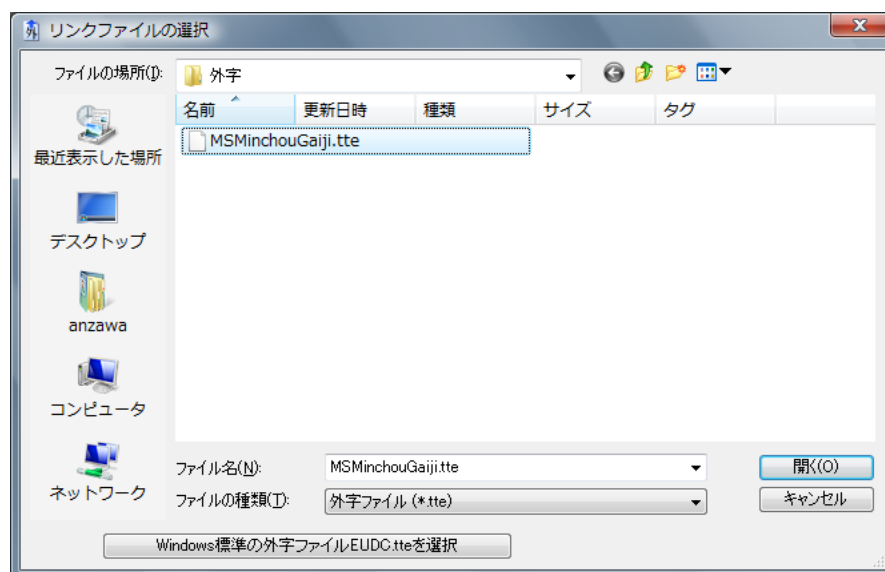
追加したいフォントを一覧から選択し、「OK」ボタンを押します。

一覧に表示されるのは、パソコンにインストール済みのフォントのみです。一覧にないフォントについて管理したい場合は、外字レジスタをインストールしているパソコンに対象のフォントをインストールする必要があります。

- ⑧. 追加されたフォントが一覧に表示されます。

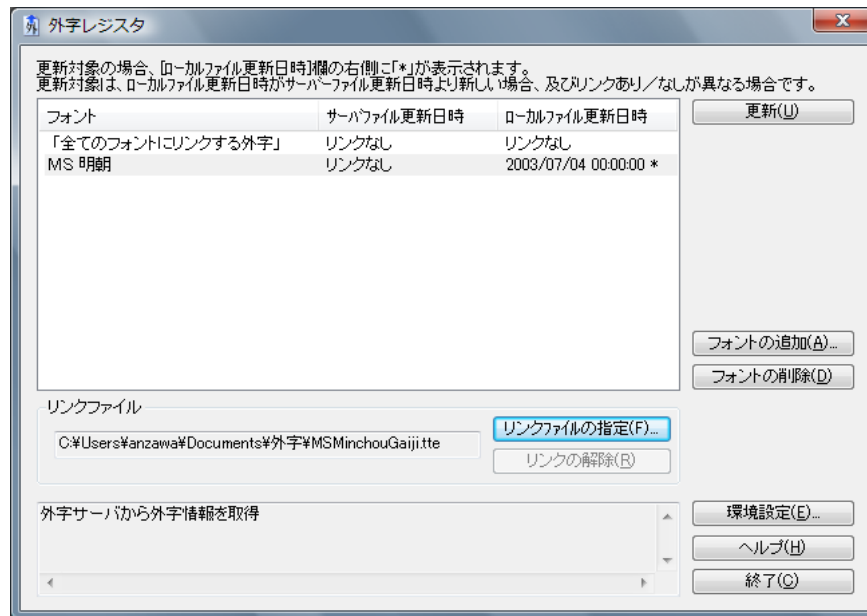


- ⑨.「リンクファイルの指定」ボタンを押し、フォントにリンクさせる外字ファイルを指定します。
 なお、追加したフォントに既に外字ファイルがリンクされている場合は、[ローカルファイル更新日時]欄に、その外字ファイルの更新日時が表示されます。
 外字ファイルには TTEdit などの外字エディタで作成したファイル(一般的にファイル拡張子は.tte です。)を指定します。

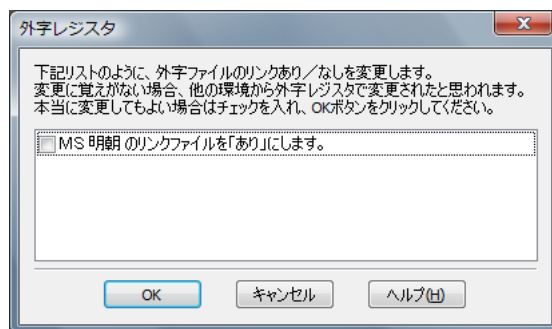


[Windows 標準の外字ファイル EUDC.tte を選択]ボタンは、Windows 標準の外字エディタで「すべてのフォントリンクする」外字として作成した外字ファイル EUDC.tte を選択する場合にクリックします。EUDC.tte は C:\Windows\Fonts フォルダ内に作成されるのですが、このフォルダ内は OS が独自に管理しているため、エクスプローラやリンクファイルの選択ダイアログ (OS 標準のファイルを開くダイアログと同じ) ではファイル EUDC.tte を表示することができません。そのため、専用のボタンを設けています。

- ⑩.一覧の「ローカルファイル更新日時」が「リンクなし」から外字ファイルの更新日時にかわります。



- ⑪.「更新」ボタンをクリックします。
- ⑫.リンク あり／なし 変更の確認ダイアログが表示されます。



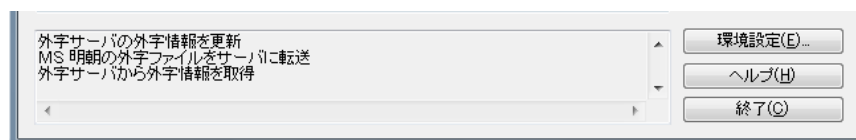
これは、外字ファイルのリンクあり／なしが変更された場合に表示されます。

複数のパソコンで外字レジスタを使用する場合、外字クライアントで自分のパソコンの外字を更新してから外字レジスタを使う必要があります。

ご自身で外字ファイルのリンクあり／なしを変更していないのに⑫の一覧に表示されている場合、他のパソコンから外字レジスタで更新した後に、外字クライアントで更新せずに外字レジスタを起動したと思われます。その場合は、「キャンセル」ボタンで更新を中止するか、一覧のリストにチェックを入れないで「OK」ボタンをクリックして更新してください。

一覧の表示に問題がなければ、リスト左側のチェックボックスにチェックを入れてから「OK」ボタンをクリックしてください。

- ⑬.外字データがサーバに転送されます。



画面下側に、サーバとの通信状態が表示されますが、最後に「外字サーバから外字情報を取得」と表示されているのは、画面の一覧を最新に更新する時に、再度サーバから情報を取得しているためです。

- ⑭.「終了」ボタンを押し、外字レジスタを終了します。

以上で外字サーバへの外字登録は終了です。

単に外字を作成するだけの通常の運用では、

- ①.外字エディタで外字を作成。
- ②.外字レジスタを起動し、更新ボタンをクリックする。

で OK です。

外字レジスタを起動した時、このパソコンの外字ファイル状態を調べ、更新されていれば[ローカルファイル更新日時]欄の右側に「*」が表示され、「更新」ボタンが有効になります。ただし、ローカルファイル更新日時がサーバファイル更新日時より古い場合、更新対象とはなりません。そのため、TTEdit や外字リンカーなどで、リンクファイルを変更した場合、そのファイルの更新日時が元のファイルの更新日時より古いと、外字レジスタを起動しても自動的に更新対象とはなりません。これは、他のパソコンから外字レジスタにより更新された場合、それを上書きするのを防ぐためです。更新対象にしたい時は、外字レジスタでリンクファイルを再度指定する必要があります。

外字レジスタで、リンクファイルの変更、リンクの解除を行った場合、このパソコンにおける実際の外字ファイルのリンク状態も変更されます。

複数のパソコンで外字レジスタを使用する場合、外字クライアントを使って外字を最新状態にしてから外字エディタで編集し、それから外字レジスタを使ってください。なお、同じ外字ファイルを複数のパソコンで更新する場合は注意してください。外字サーバでは排他管理していないため、後で更新したファイルで上書きされてしまいます。

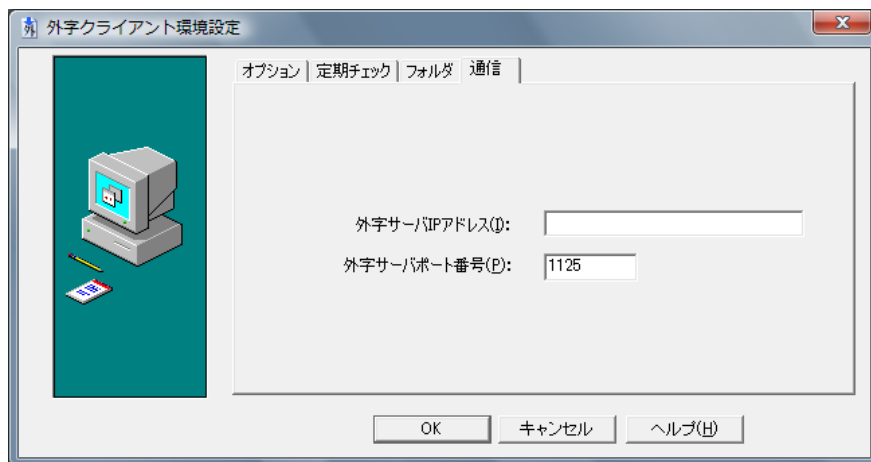
7. 外字クライアント

外字クライアントを使って、外字サーバから外字ファイルを取得し、パソコンに外字登録します。初めて外字クライアントを起動したら、環境設定を行う必要があります。

環境設定は Windows の「スタート」メニューから起動してください。

ただし、外字サーバ IP アドレスが設定されていない場合は、外字クライアントを起動するとメッセージが表示された後、環境設定が起動されます。

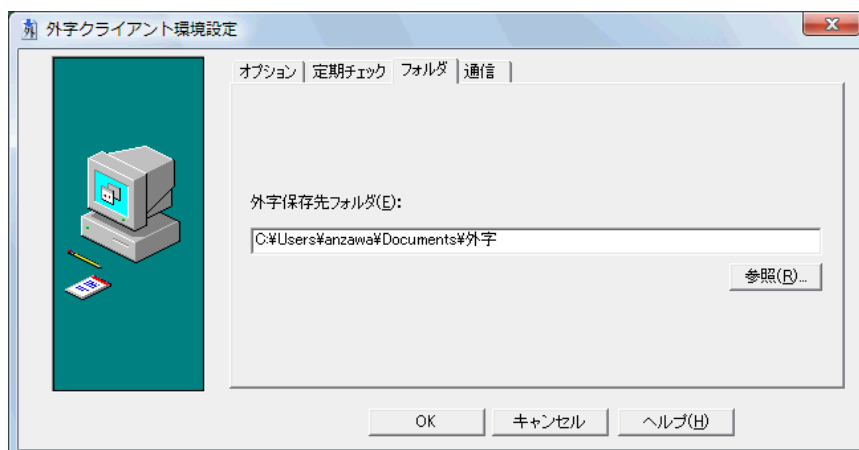
- ①.「通信」タブを選択します。



- ②.「外字サーバ IP アドレス」を設定します。外字サーバをインストールしたコンピュータの IP アドレス、またはコンピュータ名を設定してください。IP アドレスで指定する場合は 192.168.100.200 のように、コンピュータ名で指定する場合は gaijiserver のように設定してく

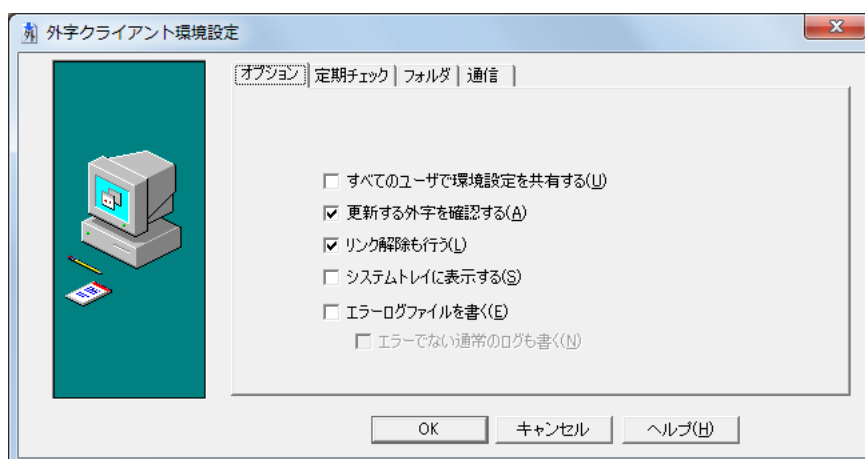
ださい。

- ③.「フォルダ」タブを選択します。



- ④.「外字保存先フォルダ」に、ダウンロードした外字ファイルを保存するフォルダを指定します。

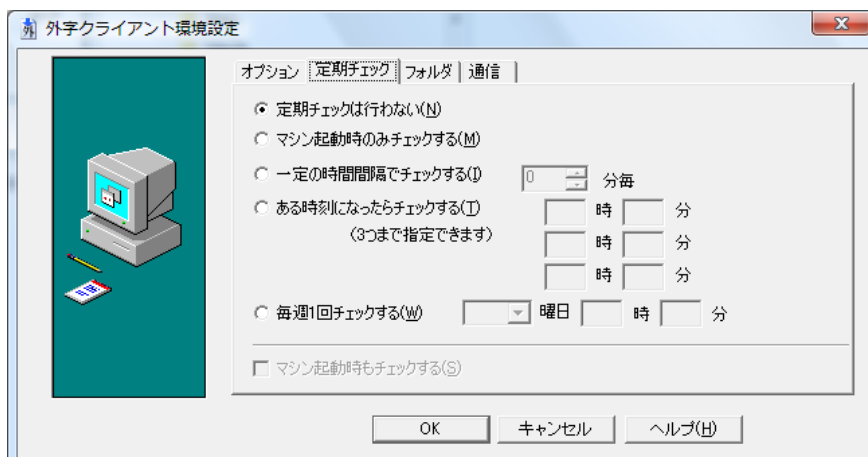
- ⑤.「オプション」タブを選択します。



- ⑥.「システムトレイに表示する」をチェックすると、画面右下のシステムトレイにアイコン表示されます。



- ⑦.「定期チェック」タブを選択します。



⑧. 定期チェックの方法を選択します。

定期チェックは行わない	定期チェックは行いません。 外字ファイルを更新する場合は、外字クライアントを手動で起動する必要があります。
マシン起動時のみチェックする	マシン起動時にのみ、外字クライアントを非表示で起動し、外字ファイルの更新を行います。
一定の時間間隔でチェックする	指定された時間間隔で、外字クライアントを非表示で起動し、外字ファイルの更新を行います。
ある時刻になったらチェックする	指定された時刻になったら、外字クライアントを非表示で起動し、外字ファイルの更新を行います。 時刻は 24 時間形式で指定してください。3つまで指定できます。
毎週 1 回チェックする	指定された曜日の時刻になったら、外字クライアントを非表示で起動し、外字ファイルの更新を行います。

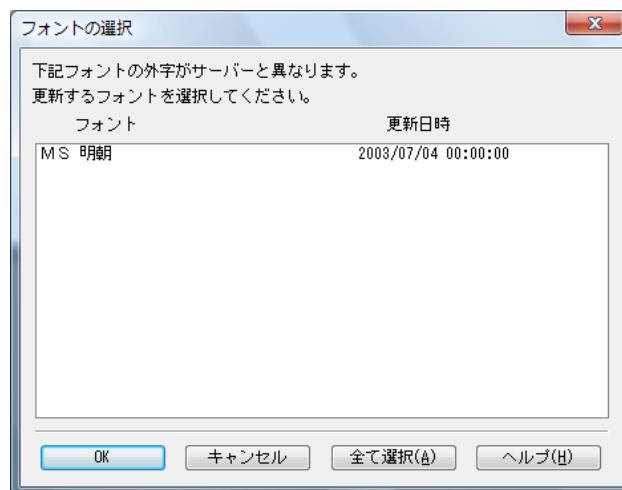
⑨. 「OK」ボタンを押して、環境設定を終了します。

⑩. 今すぐ外字情報を更新したい場合は、外字クライアントを直接起動します。Windows メニューの「スタート」→「すべてのプログラム」→「外字クライアント」→「外字クライアント」を選択します。外字クライアントが起動され、環境設定で「更新する外字を確認する」をチェックした場合、外字情報の更新が必要な時はフォントの選択ウィンドウが表示されます。

外字サーバに登録されている外字ファイルとクライアントパソコンの外字ファイルにおいて、

- ・ファイル更新日時が異なる。
- ・ファイルサイズが異なる。
- ・外字ファイルのリンク あり／なし が異なる。
- ・環境設定で設定されている「外字保存先フォルダ」と異なるフォルダ内のファイルにリンクされている。

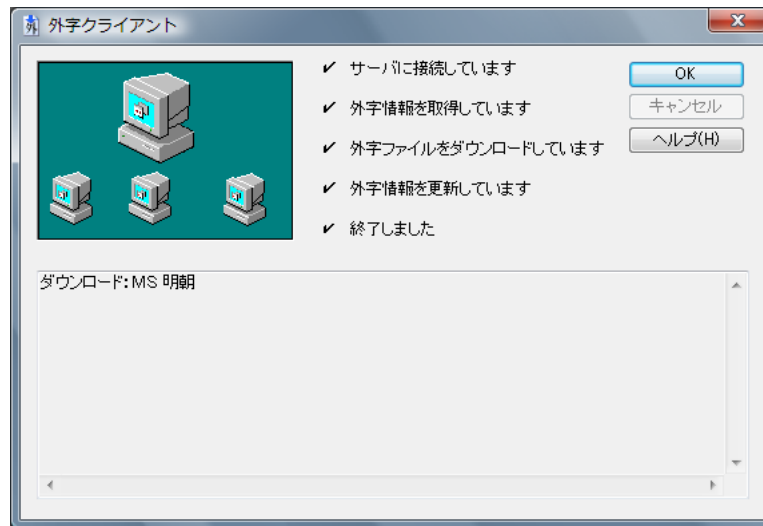
のいずれかの時に更新が必要と見なします。



環境設定で「更新する外字を確認する」をチェックしていなければこの画面は表示されず、全て選択したものとみなして処理します。

⑪. 一覧から更新するフォントを選択し、「OK」ボタンを押します。

⑫. 外字サーバから外字情報がダウンロードされます。



⑬.「OK」ボタンを押し、外字クライアントを終了します。

以上で外字クライアントでの処理は終了です。

外字クライアントの画面を表示させないで自動的に外字を更新するには、外字クライアント環境設定の「定期チェック」タブで、「マシン起動時のみチェックする」「一定の時間間隔でチェックする」「ある時刻になったらチェックする」「毎週 1 回チェックする」のいずれかを選択してください。

定期チェックが有効な場合、パソコンが起動された時にスタートアップとして[外字クライアント起動]が実行されパソコンに常駐し、指定時間になったら[外字クライアント]を起動します。

[外字クライアント起動]は[外字クライアント]を起動するためのソフトです。

マシン起動時にチェックするが有効な場合は、パソコン起動時に [外字クライアント起動]が実行され、1分後に[外字クライアント]が起動されて外字更新がチェックされます。そして定期チェックが有効でなければ、[外字クライアント起動]ソフトは終了します。

8. タスクスケジューラを使っての外字クライアント起動

通常は[外字クライアント起動]ソフトが常駐して外字クライアントを起動しますが、[外字クライアント起動]ソフトをやめて、Windows 付属のタスクスケジューラを使ってより詳細に外字クライアントの起動を管理することができます。

この場合は、外字クライアント環境設定の「定期チェック」タブで「**定期チェックは行わない**」を選択してください。

また、タスクスケジューラで設定する時、「操作の編集」におけるプログラムとして

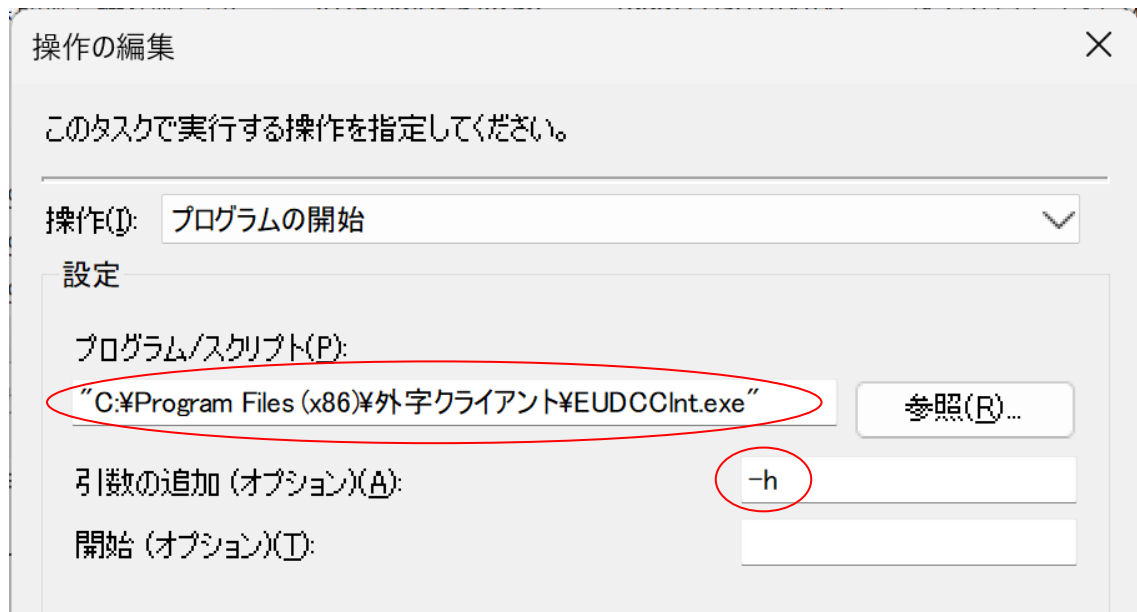
(64bit Windows の場合) "C:\Program Files (x86)\外字クライアント\EUDCCInt.exe"

または

(32bit Windows の場合) "C:\Program Files\外字クライアント\EUDCCInt.exe"

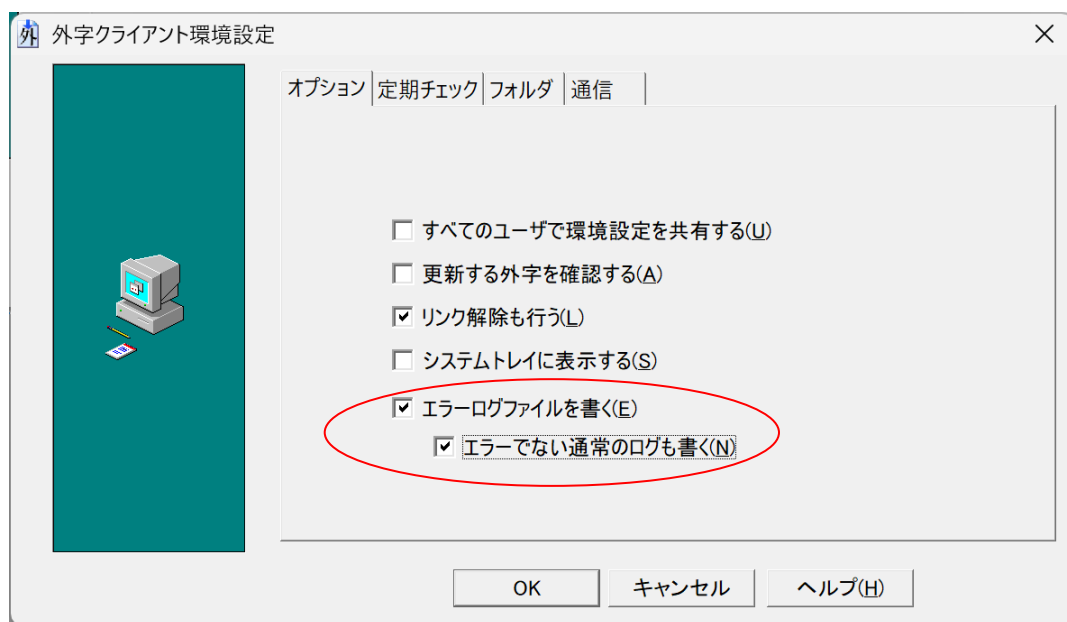
を選択してください。EUDCCInt.exe が外字クライアント本体のプログラムです。

また、「引数の追加(オプション)」には **-h** を設定してください。-h は外字クライアントを非表示で実行するオプションです。



9. ログファイルによる外字クライアントの動作確認

導入時に外字クライアントの動作を確認するには外字クライアント環境設定の「オプション」タブで「エラーログファイルを書く」と「エラーでない通常のログも書く」にチェックを入れると、ユーザのドキュメントフォルダ内にファイル名「**外字クライアントエラーログ.txt**」で動作のログが作成されます。



導入終了時には「外字クライアントエラーログ.txt」は削除しても大丈夫です。

動作の妨げになるのでログファイルは書かない方が望ましいためチェックは外してください。管理上必要な場合は「エラーログファイルを書く」のみチェックを入れ、「エラーでない通常のログも書く」はチェックを外してください。